

曝気

エアレーション(aeration)とも呼ばれる。汚水などの液体と空気や酸素を接触させる操作のこと。この操作により液体中に溶けている酸素の濃度(溶存酸素濃度)を高め、有機物などの酸化分解に必要な酸素を供給する。また、液体中に溶けている揮発性分を気相側に移動させ放散・除去することができる。さらに、気泡により液の混合が行われ、活性汚泥などの固形成分と液体の接触を促進する効果がある。

(市川)